

ここから
那珂川市

KOCO COLOR NAKAGAWA-CITY

ここからはじまる
いろいろな未来



KOCO COLOR

NAKAGAWA CITY





山下 良平 市制施行記念イラスト「THE RIVER」2018年

福岡県の中西部に位置する那珂川市は、
名前の通り「那珂川」が市の中心を流れるまちです。

「那珂川」が育んだ自然と、福岡都心部へのアクセスの良さ。
この二面性が、暮らしやすいまちとして多くの人を招き入れ、
2018年10月1日、那珂川は市になりました。

長い歴史を刻んできたまちは、いま、新たな一歩を踏み出しました。

すぐそばには豊かな自然。博多駅や福岡空港へもあつという間。
充実した子育て環境に、先進の教育制度。
地域から生まれる新たな取り組み。

このどれもが誰かの未来につながっているはずです。
那珂川市、そしてあなたの未来が“ここから”始まっていきますように。



画家・イラストレーター
やました りょうへい
山下 良平 さん

福岡県那珂川市出身。「躍動」を一貫したテーマに
絵画作品、イラストレーションを制作。マガジンハ
ウス「Tarzan」表紙をはじめ、ナイキなどのビジュ
アル制作や、音楽フェス「SUMMER SONIC」での
ライブ・ペインティング、横浜マラソン2016公式ビ
ジュアル作成などアート・ディレクションを含めた
活動にも力を入れる。画家としての活動も本格始
動し、自身のアートブランド「LIKE A ROLLING
STONE」を立ち上げ絵画作品の発表、販売を行
う。2015年、大阪で開催されたアートフェア
「UNKNOWN ASIA」で「イープラス賞」受賞。

contents/

- **03** 那珂川のひと
03
イラストレーター
諫山直矢
- **04**
04
陶芸家
古賀崇洋
- **05** アーバンアウトドアの聖地へ
五ヶ山クロス
- **07** 那珂川で遊ぶ
五ヶ山クロス／グリーンピアながかわ／
中ノ島公園／ふれあいこども館
- **09** 博多南駅前ビル
ナカイチ
- **11** Y氏は暇人
那珂川！路上遺産
- **13** NAKAGAWA MAP
- **16** INFORMATION



那珂川市って？



「那珂川市」は福岡市の南に隣接し、交通アクセスに恵まれ、「都市」の顔を持ちながら、豊かな「自然」の顔も併せ持つまちです。

Go, Nakagawa Future.

ここから始まる未来
那珂川は市になりました

Nakagawa People

NAOYA
ISAYAMA

Illustrator

“チャレンジング”な 基盤が息づく 那珂川という場所

イラストレーター

諫山直矢

那珂川市出身。福岡市内のデザイン制作会社にてイラスト・デザイン制作に携わり、2013年の独立から福岡市内での活動を経て2017年那珂川にリターン。

イラストレーターを 志したきっかけは？

物心がついた頃から絵を描くことが好きで、幼少期に兄が描いていた絵を真似して描き始めたことを今でも覚えています。成人を迎えるまでは那珂川の自然溢れる環境で過ごし、本格的に絵やデザインの道に進むことを決意したのが20歳の頃。そのタイミングで福岡市へと拠点を移し、国外での生活を含む8年ほどデザイン制作会社で過ごしてから31歳で独立しました。その後、2017年から故郷である那珂川を拠点として、アトリエを構えました。

活動の場として那珂川に 戻ってきた理由は？

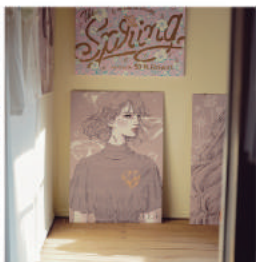
那珂川には、若い人たちが独自に新しいことを始めようという時、自らが動くことができ、手を加えられる余白や場があると思ったからです。その想いに対してまろがしっかりと応え、受け入れてくれる柔軟さが根付いていて、それは何

出身地に新たな兆しを感じる人気イラストレーター・デザイナーの諫山直矢さんと、世界を股にかける気鋭陶芸家の古賀崇洋さん。自身の活動の幅を広げるために那珂川に拠点を移した、今注目の「那珂川のひと」2名にインタビューしました。

よりも魅力的だと感じました。

最近では、コワーキングスペースや様々なコミュニティも充実し、熱意のある若手の活躍の場が生まれてきています。僕自身も、デザインやイラストの視点から那珂川を変えていきたいという想いがあり、今では市として生まれ変わる「那珂川市」のロゴデザインをはじめ、市にまつわる様々なお仕事をさせていただけようになりました。

ここから、いろいろな人がそれぞれの立場で、個の色を活かしながら、新しいまちづくりに挑戦し続けていけると最高ですね。次の世代の子どもたちにとっても、想い描いた夢を叶えられる、そんなまちの基盤を僕らで築いていきたいです。



2017年から制作の場としてはもちろん、作品展示・販売、ワークショップ、イベントの場としても活用されている現アトリエ。「生まれた環境なのか、自然に囲まれていないとなんだか気が滅入るんです」、幼少期から馴染みある田園風景にもほど近く、都市と自然が調和した街並みは、気負うことなく素直な自分自身や表現を作品としても昇華できる場だと語る。

こが たかひろ
陶芸家 古賀崇洋

福岡県出身。大学卒業後の2011年から作陶。鹿児島での活動後、2017年から那珂川へ移住。現在は那珂川を拠点に活動、国内外で活躍する陶磁器作家。

“大器”に向かう
新たなステージを
支えるまち

Nakagawa People
TAKAHIRO
KOGA
Ceramist



那珂川に新たに構え、古民家をリノベーションしたアトリエの様子。

福岡空港から3駅・
自然も世界も“近い”場所

那珂川に移住するまでは鹿児島で活動をしていましたが、ありがたいことに作品が広く評価していただけのように、国内外問わずさまざまなところで展示をさせていただくケースも増えました。今後の作家活動の拠点を新たにどこに移すか検討しているときに、現在工房として使用している物件に巡りあったことが、僕の中で那珂川とい

う場所に出会ったきっかけでした。福岡県出身で、地元にも拠点を構えたいという思いもありながら、移住を検討する上でどうしても必要だった条件は「世界といち早く繋がれる場所」でした。福岡自体、東京にもアジアにも行きやすい場所ではあります。中でも那珂川はそのハブとなる福岡空港へ3駅という利便性。お恥ずかしい話ですが、最初は博多南駅も知らず、物件を探していた中では盲点でした。博多南駅から博多駅まで新幹線ではたったの8分。普通の電車感覚で新幹線を利用できるって、斬新で面白いですね(笑)。さらにそこから10分もあれば福岡空港。月に1度は国外に行くため、あつという間に世界への入り口に辿り着ける環境は本当に嬉しいですね。

そして何より陶芸家として無視できないのが自然環境です。どうしても機材を使用する音がしたり、創作をする上では精神的にも静かな環境も必要であるため、設備や環境のことを考えると、陶芸の拠点は自然環境が豊かで、活動を許容してくれるような寛容な場所が必須条件です。昔ながらの田舎の原風景に癒やされる日常生活のワンシーンさえ、ときには自身の世界を追求し、入り込んでいかなければいけない



東京・六本木ヒルズでの展示をはじめ、国外ではイタリアの「ミラノサローネ」やバリの「メゾン・エ・オブジェ」など世界規模の有名な見本市にも参加し、新進気鋭の若手陶芸家として注目を集めている古賀さん。九州では九州国立博物館での展示も実現させた。古来からの日本の美学と現代的な表現で、見る者に投げかけるような鮮烈な作品は国内外で高い評価を受けている。

「力」をテーマに東京・六本木で行われた個展「呑むアート展」の様子と古賀さんの作品。甲冑を装着したようなマスク型の酒器や、モノの力を可視化した尖りの表現が施された作品は古賀さんの代表作。

Go, Nakagawa Future.

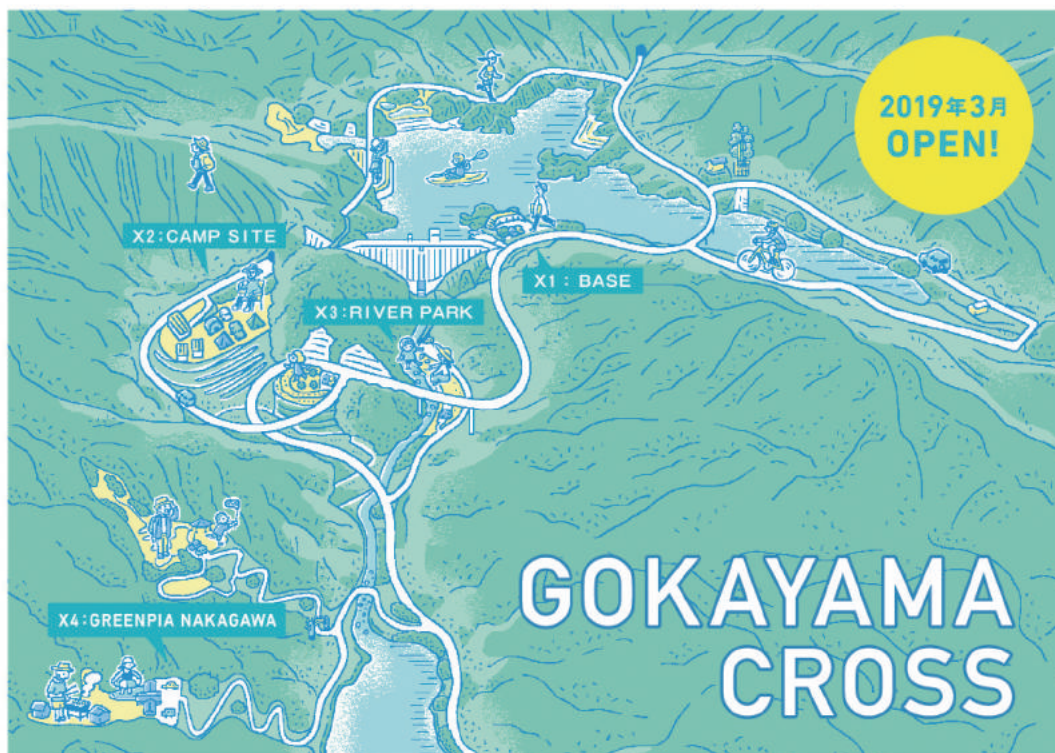
ここから始まる未来。

New Open!

Landmark
**GOKAYAMA
CROSS**

アーバンアウトドアの聖地へ 五ヶ山クロス

福岡都市圏から最も近いアウトドアの聖地を目指し、新たな拠点がオープンします。サイクリングやトレッキング、キャンプなどに加え、エリアの中心機能を持つ、五ヶ山ダム湖面隣接の商業施設では、カヌーなどのウォーターアクティビティも計画中です。



X1: BASE

物販スペースと飲食スペース、展望デッキを持つ五ヶ山クロスの拠点です。

眼下に広がる広大な美しい湖畔、自然豊かな脊振山系の山々の眺望を楽しむことができる場所です。



X2: CAMP SITE

居住性が高く快適な常設テントサイトや開放的なフリーキャンプスペース、電源付きオートサイト、ペットとともにキャンプができるペットサイトなどを備えた、様々なキャンプのニーズに応える総合キャンプサイトです。



X3: RIVER PARK

五ヶ山ダム直下の川遊びが楽しめる公園です。

総貯水量・堤体の長さともに福岡県1位である五ヶ山ダムがもたらす恵みある河岸は家族連れの行楽にもぴったりです。



X4: GREENPIA NAKAGAWA

バンガローや野外バーベキュー場、水遊び場などを保有するキャンプ村と、四季折々の花を楽しめる花園、力いっぱい走り回れる広場などを備えたスキップ広場があります。



五ヶ山クロスのアクティビティや、那珂川の遊びスポットについてはP07へ!



CAMPING



PLAY! in NAKAGAWA

那珂川で遊ぶ



＼五ヶ山クロス／

2019年3月
OPEN!

キャンプはもちろん、サイクリング・クライミング・カヌー・トレッキング etc. アーバンアウトドアの聖地で様々なアクティビティを体験することができます。

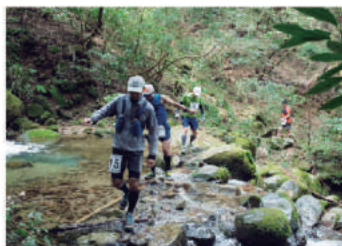
→ キャンプ+クライミング



キャンプサイトには高さ約8mのクライミングタワー施設も常設。大自然のなかで、思い切り体を動かせます。



五ヶ山ダム湖面ではカヌーが楽しめるように計画中。穏やかな水面でカヌーに揺られながら、のんびりと自然を満喫できます。



→ トレッキング サイクリング

脊振山に囲まれた五ヶ山エリアのアップダウンはトレッキングやサイクリングに最適です。

○ グリーンピアなかがわ

住所：大字五ヶ山870-2 TEL：092-953-3373



PICNIC



→ バーベキュー場

雨天OK！日帰りバーベキューを満喫



雨天利用可能な野外バーベキュー場。バーベキューセット（コンロ、木炭、着火剤、網、火ばさみ、トング）の貸し出しをしており、気軽に日帰りバーベキューが楽しめます。※食材は持ち込みとなります。

→ スキップ広場

季節の移ろいを楽しめるガーデンパーク



自然たっぷりの環境に囲まれ、3～11月の間、四季折々の花を楽しむ花園や、力いっぱい走り回ることができる広大な広場、各種イベントも開催可能な大東屋などを備えた、季節の移ろいや自然を満喫できる多目的な利用が可能なガーデンパークです。

→ 山水プール

夏は山水プールで思い切り遊ぼう



キャンプ村では7月中旬～9月上旬に山水プールを開放しています。ウォーター 슬라이ダーや遊具貸し出し（有料）もあり、家族連れのレジャーにもぴったりです。



＼中ノ島公園／

住所：大字市ノ瀬445-1 TEL：092-953-0514



○ 四季彩館

色とりどりのカルチャーで彩られるコミュニティスペース



会議室・多目的室・展示室の3タイプのスペースを備えた四季彩館は、レクリエーションや研修会、各種催し物など多様な用途に応じ、木のぬくもりを感じられる温かみのある空間が特徴のコミュニティスペースです。

○ かわせみの里

那珂川の美味しい食が集う生産物直売所



市内で採れた野菜や加工品などを中心に販売を行っている生産物直売所です。春夏秋冬、旬の食材や中山間地区で採れたお米など、那珂川の美味しい食が揃っています。

○ SUMITSUKE

地域の魅力発信基地



那珂川市移住交流促進センター「SUMITSUKE」は南畑地区への移住相談を通して、地域の魅力や暮らしを紹介しつつ、南畑の住民が気軽に集う、憩いの空間としての役割も担っています。



＼ふれあいこども館／

住所：仲2-5-2 TEL：092-953-8106
休館日：毎週月曜日 開館時間：9:00～17:30



ふれあいこども館(正式名称「那珂川市複合児童福祉施設」)は、就学前の子どもとその保護者を対象にしたイベントやプログラム、小学生の遊び場、中高生の学習支援の場などを提供する那珂川市の子育て支援拠点です。



お子さん連れに嬉しい
プログラムが充実！
子育てをもっと楽しもう！



ふれあいこども館 Program 01 すくすくブックタイム

生後4カ月の赤ちゃんを持つ保護者の皆さまに、絵本の読み聞かせを体験していただき、読み聞かせの大切さや読み聞かせのポイントなどを知っていただくものです。また、子育てのアドバイスなどを気軽に聞くことができます。



ふれあいこども館 Program 02 プレバママ講座

出産に対する不安の解消を目的に実施。助産師から出産時の心構えや気を付けておきたい事などの講話を聞いたり、沐浴体験や疑似妊婦体験などのコーナーも充実しています。

Go, Nakagawa Future.

ここから始まる未来。

Renewal Open!

Landmark

NAKAICHI

まちの入り口、アイデアの出口
人々が集い、出会い、発信する場

博多南駅前ビル

ナカイチ

住所：中原2-120 TEL：092-954-2780

2018年3月にリニューアルオープンした博多南駅前ビル。愛称は、賑わいをもたらす「市(イチ)」と那珂川の「ナカ」を組み合わせ「ナカイチ」。幅広い年代の方に利用してもらえるよう工夫が凝らされ生まれ変わった「ナカイチ」は、気軽に立ち寄って思い思いの時間を過ごしてもらえる「那珂川の東の玄関口」です。

JR博多駅から
JR博多南駅まで
新幹線で

最速
約8分

片道
300円

8
minutes





GARDEN FLOOR
ガーデンフロア

ナカイチの

4F

テラスや庭園のある
グリーンスペース

緑あふれる屋上庭園や屋上農園、多目的スペース、「地域住民と那珂川の生産者をつなぐ」をコンセプトにした飲食店の展開など、那珂川のコミュニティスポットとして活用されています。

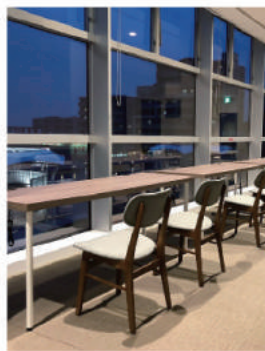
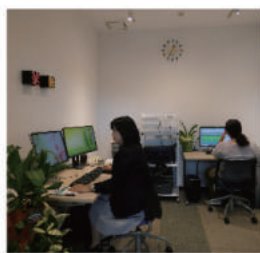
ナカイチの

3F

WORK FLOOR
ワークフロア

新しいアイデアが生まれる場

シェアオフィス・コワーキングスペースを備えるワークフロアで、会社のオフィスやサテライトなど多様な用途での使用が可能です。事業企画だけでなく、暮らしと共に豊かに働く場所を見つけるために、イベントやセミナーなども行われ、働く環境を変えたい、新しく何かを始めたい方に向けた充実の環境が整っています。



PARK FLOOR
パークフロア

ナカイチの

2F

公園のように様々な過ごし方が
できる集いの場

博多南駅との連絡通路から直接つながる2階のフロアにはカフェを併設。人々が新幹線の利用前後にふらっと立ち寄りたくなる、それぞれに合った過ごし方ができるスペースを用意しています。



ナカイチの

1F

TERMINAL FLOOR
ターミナルフロア

交通の発着と
情報やカルチャーの発信拠点

ナカイチ前のロータリーでは毎日西鉄バス、那珂川市が運行するかわせみバスが行き交います。待合所としての役割だけでなく、地域の情報を集めたインフォメーションやアート・カルチャーを発信するギャラリースペース、飲食店、物販など、まちの魅力が散りばめられたスペースで人々を楽しませます。





その昔、那珂川を都にする 幻の計画があった?!

源平合戦(治承・寿永の乱)の際に都を追われた安徳天皇と平氏一門は、原田種直を頼って筑紫の地へとやってきたといわれています。種直は平清盛の長男である平重盛の養女を妻としていたことから、平氏との縁も深い人物でした。現在の安徳台に種直の居城があり、ここが一時的に安徳天皇の御所とされることになったと伝わっています。平家物語には「つくしにみやこをさだめ、だいらつくらのべし」、つまり、筑紫を都として内裏(天皇の住む場所)を作るべきだと平家が話し合ったという記述があります。この計画は結果的に実施には至りませんでした。もし筑紫が都とされていた場合、那珂川のこの近辺が都になっていたという可能性もあるのかもしれませんがね。ちなみに・・・この安徳台は約9万年前の阿蘇山の大噴火により生じた火砕流が堆積してきた台地です。

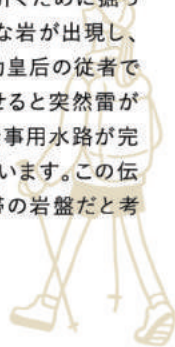


安徳台全景



日本書紀にも登場する 那珂川の隠れた名所とは?!

一見、何の変哲もない小川のように見える「裂田溝(さくたのうなで)」。実は、日本書紀にも登場する場所で、約1300年以上前に作られた人工の用水路です。日本書紀によると、神功皇后が戦の勝利祈願のために神田を開き、その田に水を引くために掘った溝なのだそうです。溝を掘っている途中、巨大な岩が出現し、それ以上掘れなくなってしまいました。そこで神功皇后の従者であった武内宿禰(たけうちのみこと)に祈禱をさせると突然雷が巨大な岩に落ち、岩を裂きました。それにより、無事用水路が完成し、現在でも田畑に水を引くために利用されています。この伝承に登場する岩は安徳にある裂田神社裏手一帯の岩盤だと考えられています。



Y氏は暇人 那珂川! 路上遺産

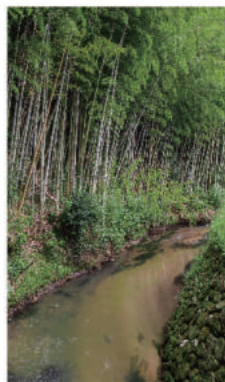
Y氏こと山田孝之が
福岡のちょっと変わった
観光スポットや
路上ネタを紹介します。
今回は町から市となった
那珂川へ行ってみました。

Y氏

(山田孝之)



主に福岡を中心とした九州のちょっと変わった観光スポットを日帰り旅行で探訪した記事「Y氏は暇人」から人気に火が付き、テレビ・ラジオなどへのメディア出演、イベント出演・展示、本・雑誌での執筆などその幅広い活躍が目まぐるしくなっている。



日本書紀にも登場する裂田溝



裂田神社



裂田神社の裏にある岩盤



丸ノ口古墳群のVI群2号墳の装飾



那珂川の古墳にコーフン!

那珂川市は古くから交通の要衝として栄えた土地であることから、古代の人々の営みがわかる出土物が数多く発見されています。古墳も約500基が確認されており、中でも丸ノ口古墳群からは約60基の古墳が集中して見つかっています。丸ノ口古墳群の中には石室に文様が描かれた装飾古墳もあり、石をコツコツたたき凹ませて文様を描く珍しい技法が使われています。古墳内からは装身具や武器・馬具などが数多く出土しているそうです。ちなみに、博多南駅前も実は「中原・ヒナタ遺跡群」といわれる古代遺跡で、ここでもかつての人々の暮らしの跡がわかる出土物が見つかっています。



丸ノ口古墳群



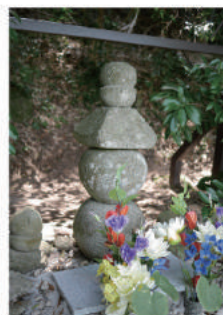
中原・ヒナタ遺跡群でもある博多南駅前

蒙古の激戦で活躍した将 少弐景資の岩門城

岩門城は別名「龍神山城」とも呼ばれ、鎌倉時代に起きた元寇の際には博多と大宰府の中間地点であることからこれらを守る重要な拠点になった城です。当時岩門城主だったのは少弐景資(しょうにかけすけ)。博多での蒙古軍との合戦で大きな功績をあげましたが、その後、家督争いなどが原因で攻められ岩門城で没しました。岩門城の麓には少弐景資の慰霊塔(伝少弐景資之墓)が建てられています。



岩門城跡全景



少弐景資の慰霊塔
(伝少弐景資之墓)



ナマズを祀る神社 伏見神社

山田地区にある伏見神社ではナマズが神の使いとして祀られています。白ナマズと呼ばれる皮膚病にご利益があるとされ、ナマズを描いた絵馬も奉納されています。7月14日の祇園祭では能面系の面をつけて踊る岩戸神楽が行われています。



筑紫耶馬溪

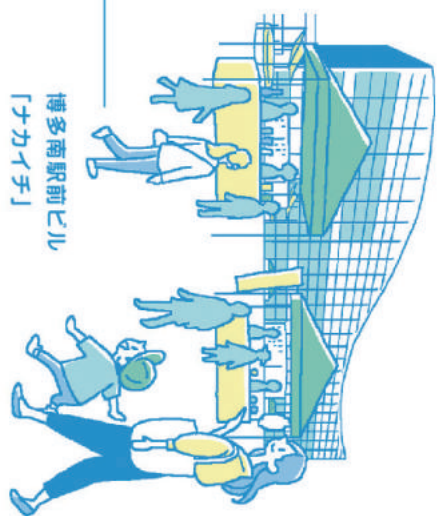
那珂川に耶馬溪??

「耶馬溪(やばけい)」は大分の中津にある溪谷ですが、それにちなんで全国各地に〇〇耶馬溪とよばれる場所があります。筑紫耶馬溪もそのひとつで、釣りや紅葉スポット、ボルダリングのフィールドとして知られています。

NAKAGAWA MAP



現人神社

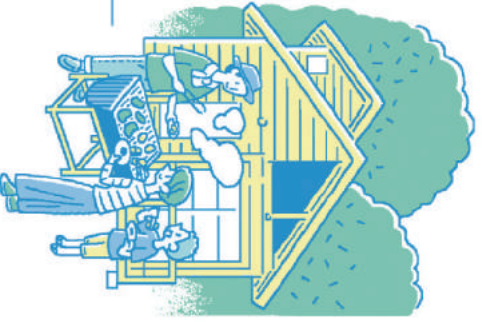
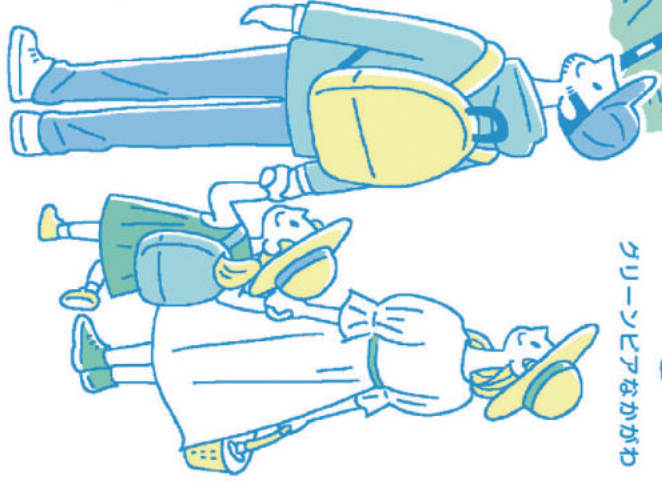
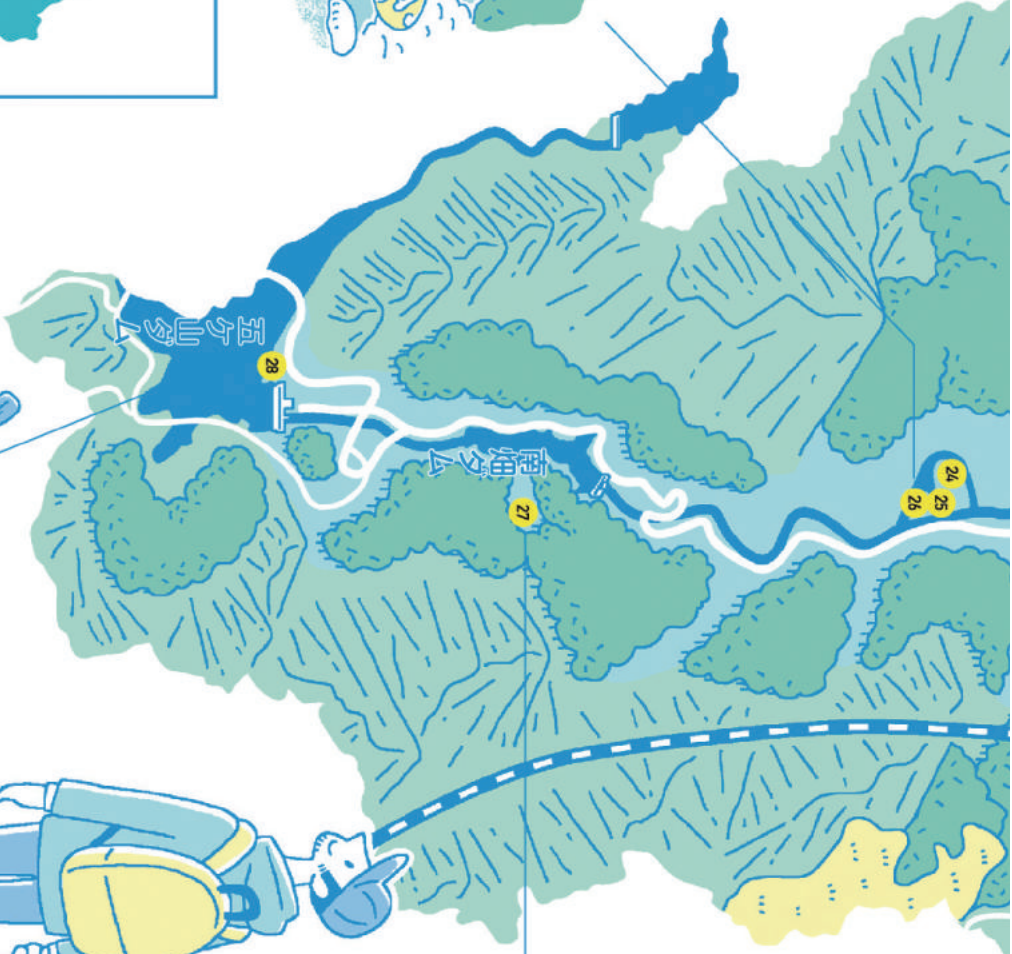
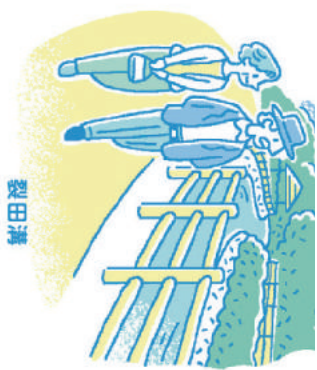


博多南駅前ビル
「ナカイチ」



ふれあいこども館





NAKAGAWA MAP LIST

01	西畑運動公園	西畑1379
02	安徳公園	今光4-168
03	岩戸公園	片縄3-117
04	丸ノ口古墳公園	片縄西3-26
05	博多南駅前ビル「ナカイチ」	中原2-120
06	市民体育館	恵子4-1-1
07	恵子児童館	恵子4-1-2
08	那珂珂川市図書館	仲2-5-1
08	ミリカローテン那珂川	仲2-5-1
09	ミリカローテン那珂川 屋内プール	仲2-6-1
10	ふれあいこども館	仲2-5-2
11	現人神社	仲3-6-20
12	中央公民館	後野1-5-1
13	梶原運動広場	上梶原1-1-1
14	安徳台遺跡	安徳
15	安徳大塚古墳(国史跡)	安徳・仲・下梶原
16	那珂珂川市役所地域整備部	安徳702-1
17	那珂珂川市役所	西隈1-1-1
18	岩門城跡	山田・安徳・上梶原
19	裂田溝	山田~今光
20	伏見神社	山田879
21	裂田溝公園	山田540
22	大山住神社	別所687
23	不入道の滝 不入道観世音	不入道188-3
24	日吉神社	市ノ瀬441-1
25	移住交流促進センター「SUMITSUKEI」	市ノ瀬443-1(中ノ島公園内)
26	中ノ島公園	市ノ瀬445-1
27	グリーンピアながかわ	五ヶ山870-2
28	五ヶ山クロス	五ヶ山

ANNUAL EVENT

那珂珂川年間イベント



ながかわよかとこ発見隊

春

3月：走ろう大会
5月：恵子児童館こどもまつり
【不定期】ながかわよかとこ発見隊



祭りながかわ

夏

6月：那珂珂川市 水泳大会
7月：不入道観世音の千灯明祭り、日吉神社 伏見神社 現人神社の籠ごし、伏見神社 抵圖祭「岩戸神楽」
8月：祭りながかわ



市民文化祭

秋

9月頃：「ハユの日」記念イベント
10月：健康スポーツフェスタ、現人神社のおくんち、ボランテニア・フェスタ
11月：市民文化祭



毘沙門天祭り

冬

11月頃：環境フェア
11月：中山間ふる里まつり
12月：人権フェスタ、毘沙門天祭り

五ヶ山クロス

<http://nakagawa-gokayama.com>



スマホ
でも



グリーンピアなかがわ

<http://www.pia-n.com>



スマホ
でも



グリーンピアなかがわ



greenpianakagawa

中ノ島公園

<http://www.nakanoshima.fukuoka.jp>



スマホ
でも



中ノ島公園



nakanoshimapark

南畑地域への移住をサポート

SUMITSUKE那珂川

<http://sumitsuke.net>



スマホ
でも



SUMITSUKE那珂川

ナカイチにあるまちづくり拠点

こととば那珂川

<https://cototoba.com>



スマホ
でも



こととば那珂川

まちの魅力が詰まった体験プログラム

なかがわよかとこ発見隊

<https://play-nakagawa.com>



スマホ
でも



なかがわよかとこ発見隊

那珂川市の子育て情報を集約

nobi nobi のびのび

<https://nobinobi-nakagawa.mchh.jp>



スマホ
でも



市の情報やニュース、魅力を発信

那珂川市

<https://www.city.nakagawa.lg.jp>



スマホ
でも



なかがわTopics



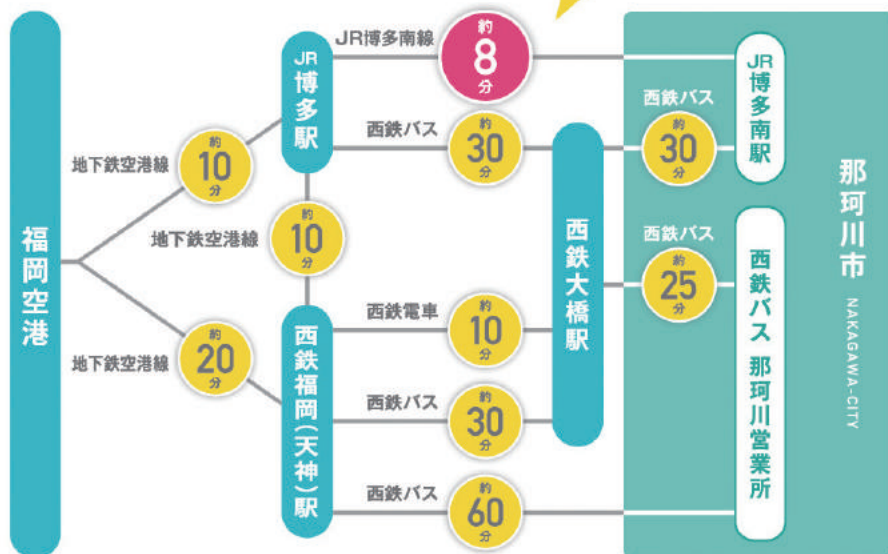
那珂川市



アクセス

ACCESS

JR博多駅から
JR博多南駅まで **片道300円**



さらに詳しく那珂川市を知りたい方はコチラ

市勢要覧「本編」デジタルカタログ

ここから
那珂川市

KOCO COLOR NAKAGAWA-CITY



那珂川市 市勢要覧 ダイジェスト版

発行 / 2018年10月

那珂川市総務部総務課 〒811-1292 福岡県那珂川市西隈1丁目1番1号

TEL 092-953-2211 FAX 092-953-0688

<http://www.city.nakagawa.lg.jp>

his yokoho@city-nakagawa.fukuoka.jp